

市長と語る タウンミーティング

テーマ「選ばれるまち、住みやすいまちにするアクションは、今がその時!!」

日時 平成25年7月6日(土) 午前10時～11時35分

会場 サービスセンターホール

天気 晴れ

参加者 89人

主な意見等 (◆・・・参加者 ☆・・・市長)

◆多目的グラウンドの説明があったが、既存スポーツ施設の荒川第1、第2、運動公園等についての整備も忘れず、また、若い人が増えている中、スポーツの取組みが重要で、健康や余暇の充実、医療費の削減にも繋がることを考えると、積極的な取り組みをお願いしたい。

☆旧大井清掃センターの跡地を多目的グラウンドとし、また、旧福岡高校跡地を地元で活用していきたいと考えている。元々旧福岡高校は、地元で県立高校がなく2市(旧上福岡市、富士見市)2町(旧大井町、三芳町)の総意で数億円の負担金を出し合い福岡高校が誕生した。お話があったようにスポーツ振興を図ることは、健康維持にも繋がることから、経費でなく投資と考えている。旧福岡高校には、グラウンド、格技場、体育館、エレベーター付きの校舎等の様々な設備があり、市の施設が不足していることや公共施設の老朽化を考えると、その活用を図っていきたい。フクトピアではダンスで予約がいっぱいになり、また、子育て、障がい者施設等の利活用が図れないか等、都市計画法の制限があるものの、現在職員プロジェクトチームを発足し検討を重ねている。埼玉県からは市で負担した費用を差し引いても、買い取ってほしいと言われており、価格の交渉等を進めながら購入について検討し、購入後は数千万円の維持管理費を確保しながら、スポーツ施設、文化団体、福祉施設としての活用等、様々な目的で活用できるように考えていきたい。

◆退職をして2年前から当市に住んでいる。先日、市役所から書類が届き、直接窓口で職員とお話すると、送られてきた文書内容と違い、非常に良い印象と礼儀正しい対応で、ふじみ野市は良い市であると感じた。また、本日の市長の話をお聞きし、その内容も良かった。市長をお願いしたいこととして、私は就職したいが、85歳になり書類審査で雇ってもらえない。選ばれるまちにするためには、高齢者を選んでほしい。私自身、PCの技術や、作文が得意なので子供達に教えられないか等、年齢で採用を決めてしまうのではなく、内面をみて雇ってほしい。

☆生涯現役と言われ、健康な体で仕事をするには、健康の維持や生きがいに繋がる。就業の機会は、若い世代であっても厳しい時代の中ではあるが、お話を聞いた得意分

野を活かせるような場の構築を考えていきたい。また、シルバー人材センターや、後で資料をお渡しするが元気な高齢者がボランティアを行う地域支え愛事業というものもあるので利用してほしい。

- ◆URの空き家が多くあるが、家賃が高いのが一番の要因でないかと思う。若い世代を呼び込むためにも、子育てができる環境や家賃を下げる交渉等、市において人口増加に繋がる対策を講じてほしい。

☆URの霞ヶ丘団地について、総戸数の約1割が空き室になっていると聞いている。また、市営、特目住宅も当団地内に所在しており、5月に国土交通大臣へ直接面会をし、借り上げ期間終了後の対応等について交渉してきた。URは独立行政法人のため、直接の国の管轄ではないが、URに指導をするとのこと。また、家賃については、URも全国展開しており、一部家賃を下げると、全国的な問題に発展する課題があるとのことだった。今後、当市の場合は、駅前の好立地にあり、家賃のみならず若い世代が住んでもらえる方策はないか、国土交通省と連携を図りながら、取組んでいきたいと考えている。

- ◆市長の説明で、利便性について住み良いとの話があり、利便性については、鉄道の便もその一つであると思う。昔、東上線で上福岡駅から池袋駅まで27、8分だったが、本数は増えているものの、ダイヤの改正がある度に時間が長くなり、所要時間が35分から40分もかかり、利便性からみると決して住みやすいとは言えないと思う。せめて通過する電車の3本に2本くらいは停まれる等、もう少し交通の利便性が高まれば、もっと住み良く、好かれる市になると思う。また、全国的に埼玉県はどちらかというと下位で、例えば、福井県、富山県、秋田県等は、教育レベルが高く、住みやすいまちとして上位にあり、埼玉県として県レベルでみると低いと思う。

☆今回住みやすいまちとして、様々な視点がある中で悩みながらお示しした。各まちにそれぞれ特色があり、埼玉県の上田知事も720万県民がいる中で、職員数の大幅な削減や警察官の数は少ないが、全国的にみても自主防犯組織が活発でトップレベルである等の特色を示している。当市でもお話があったように、鉄道の利便性については同感で、TJライナー等のダイヤ改正で所要時間が長くなっている。また、駅前開発の本整備をする構想を描いているが、費用については自治体の支出が大半である。鉄道会社には、駅舎やその周辺を含めた整備の提案や、利便性を高めるために、電車のダイヤ改正で通過する列車の何本かは停めてもらう等の要望していきたい。今後、この1位に甘んじることなく、胸を張って言えるよう取組んでいきたい。

- ◆説明の中で、果たすべき義務と要求を交えて説明をお願いしたい。要求に対して満足してもらって説明だけで、義務が抜けていたように感じる。

☆当市のみならず、国のあり方自体について重要な部分のご指摘を頂いた。市民の皆様

に対して、受益側として負担をして頂かなくてはならない。かつてのように税収がある程度確保され、社会保障等の運用できた時代から、人口減少により国全体をみても現制度では支える側の負担が増大になり、支えきれないことは、誰もが感じていることだと思う。これを、小手先の議論の中で、消費税を上げて使うにも限界があるのは事実である。これからは、公共施設である公民館は文化団体であるから減免が当たり前ではなく、維持費を全体で負担していく考えがなければ、成り立たなくなってしまう。行政の長として、税金を効果的に無駄なく使い、合併の恩恵をいかに取り入れられるかが必要であり、皆さんからもご負担をして頂けなければならない。無料のバスも少額でも徴収しなくてはならない。また、私が就任してから介護サービスの維持ができないため介護保険料の値上げをした。これは65歳以上の介護保険料ではなく、40歳以上が負担をしており、システム自体を見直さない限り成り立たない。水道料金が逆ザヤの状態、水道水をつくる費用の方が、皆さんから頂く水道料金を上回っており、年間7千万円の赤字になっている。これから消費税率が上がれば、水道は企業会計なので料金にも影響がでて、当然、荒川の県水を買うのにも消費税増税が負担となる。現在は、今まで貯めていたお金を毎年取り崩しながら、赤字の補填や老朽化した水道管工事等の対応をしている状態で、今後は、解消を図らなくてはならない。公共施設の利用料についても負担しあっていかなければならない。一番大事なことは、義務としての受益者負担であることを、ご理解頂くよう広くお伝えをしなくてはならないことである。

- ◆資産を持っている割合が、平成元年は3割が高齢者であったが、平成25年では6割になっている。つまり年金暮らしをしている方々が約6割の資産を持っている。エアコンの効く総合福祉センターのお風呂をお年寄りが無料で毎日使っているが、市長の説明のように有料にしたほうがよい。若い人に住んでもらうまちには、資産のあるお年寄りには負担をして頂くようなことをやらなければ、日本、埼玉県、ふじみ野市の経済が成り立っていない。市長は恨まれるかもしれないが、市民にある程度の負担をお願いしてこそ、住みよい、選ばれるまちになるのではないかと思うので検討してほしい。

☆ある一定程度蓄えがある高齢者からは無料でなく負担を頂いても良いのではないかと、実際に利用されている方からも無料でなくて良いとの話しや、循環バスも有料にしてもっと便利にした方がよい等、いろいろな声を耳にすることがある。また、循環バスについては、見直す予定で、元々旧大井町で使っていた福祉バスを合併したことにより全市的な活用をし、また、利便性の確保から駅へのアクセスも入れたが、本数が少ないために不便となっている。今後どうするかがこれからの議論であり、また、負担を頂き利便性をよくすることなども一つの手段である。今後、本来の福祉はどうあるべきか、行政だけでは、成り立たない時代が到来し、地域の中で負担できる人には負担をして頂き、手を差し伸べていかななくてはならない人には、公的な支援をしてい

くことを、多くの人に理解をして頂くことが、これからのまちにあるべきでものであると考えている。